

2024 年度（令和 6 年度）精密工学会高城賞 贈賞式

於：2025 年度 精密工学会 春季大会 贈賞式

2025 年(令和 7 年) 3 月 18 日(火)15 時より、千葉工業大学 津田沼キャンパス 2 号館 3 階大教室にて、精密工学会高城賞の表彰式が執り行われ、理事長代理で高増常務理事が出席し、2 件の論文に授与いたしました。



1) 方向切り替え機能を持つ非接触狭隙部形状計測手法の測定性能評価

〔精密工学会誌 90 巻 4 号〕

丸野 兼治((株)日立製作所), 針山 達雄(同左), 渡辺 正浩(同左)

2) 回転軌跡可変主軸の研究

〔精密工学会誌 90 巻 8 号〕

小幡 真之(コマツ NTC(株)), 森本 喜隆(金沢工業大), 大島 政英(公立諏訪東京理科大), 林 晃生(金沢工業大), 瀬川 開生(同左)



高城賞とは、精密工学分野で独創性に優れ、工業的価値が高いと認められる論文で、その内容が産業界全体で実施されたものを対象とし、精密工学の基礎技術分野での産業界の活動を促進することを目的として贈賞されます。この賞は論文著者個人を贈賞するとともに、それを可能とした中心的研究開発実施機関もあわせて表彰する特徴のあるものです。

賞の名称の由来は、当財団に基金を出捐した創設者のうちのお一人で、精密測定技術の発展に貢献した技術者として精密工学会名誉会員であった元(株)東京精密の会長の高城誠氏の姓を冠して設置され、今年度は 1990 年度から通算 35 回目（変更後は 27 回目）の贈賞となりました。